

# 寝屋川市立明和小学校の教育活動

令和5年5月1日現在

寝屋川市立明和小学校	校長名 酒井 紀雄
住所 〒572-0850 寝屋川市打上高塚町4番1号	電 話 072-825-9004 F A X 072-823-2970

## 学級数、在籍数

学 年	1	2	3	4	5	6	支援	計	
学級数	2	3	2	2	2	2	5	18	
児童数 生徒数	男	28	34	25	26	26	28	27	194
	女	28	38	23	29	29	26	9	182
	計	56	72	48	55	55	54	36	376

## 教育方針 教育目標

基本方針 人権尊重の精神に基づいた「生きる力」の基礎・基本となる力を培う教育をめざす  
教育目標 ともにまなび ともにあゆむ→知・徳・体のバランスの整った子どもの育成を図る

【めざす子ども像】『知』自ら課題を見つけ、主体的に行動する子ども

(粘り強く問い続け、よりよいものを作り出す力)

『徳』命を大切にし、違いを認め、仲間を大切にする子ども

(励まし、支え合い、ともに伸びようとする力)

『体』最後までやり抜く子ども

(健康でしなやかな心と体をつくる力)

研究主題 『仲間と共に主体的に問題解決する力を育てる』

— 自分の思いや考えを、自分の言葉で表現できる力を育てる —

だれもが生き生きと輝く学校

— 義務教育9年間を見据えた学校づくり —

\*基本的学習習慣の定着 →個々の自立に向けて、学習の規律の確立を図る

○授業観 (ともにまなぶ授業の創造)

\*基礎学力・基礎体力の充実を図る ⇔ 随時、習熟度 (実態) を分析する

\*「まちがい」や「つまずき」から指導の内容と時期・方法を振り返る

⇔ 柔軟性のある指導の工夫や改善に努める

\*どの子ども自ら進んで学習に取り組む意欲をかき立てる授業をつくる

\*対話を重視した子どもが主体的に活動する課題解決的な授業を組み立てる

⇒素材 (教材) との対話・仲間との対話・自己との対話により総合的なものの見方や考え方を育てる

○生活観 (ともにあゆむ学校生活の創造)

\*命を大切にし、健康でしなやかな心と体を持つ子どもを育てる

\*違いを認め合い、違いを乗り越えてつながり合う力を育てる

\*子どもが安心していられる集団づくり

## 特色ある教育活動

- ・平和学習  
1～3年 ビデオ・絵本学習など 4～6年 ゲストティーチャーによる戦争や被爆体験の講話 など
- ・平和学習パネル展（1学期懇談期間中）
- ・人権総合学習（さまざまな体験学習）  
【地域学習・平和学習・共生教育（国際理解・インクルーシブ・男女共生）環境教育・食育・福祉ボランティア教育などの一環として、さまざまな人と出会う場を持つことで学習を深める。】
- ・ディベート学習  
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けてディベート学習を通して子どもたちを「主体的な学び手」として育てる。

## 主な行事（月）※年度当初予定

4月	入学式	1月
5月	授業参観 修学旅行	2月 スキースクール 授業参観
6月	プール開き	3月 卒業式
7月	土曜参観 個人懇談	
9月		
10月	運動会	
11月	音楽会	
12月	個人懇談	

## 服装 等

服装	…私服
くつ	…運動靴
かばん	…リュック型で背負えるもの

## 日課

校時	時間帯
1	8:50～9:35
2	9:40～10:25
3	10:45～11:30
4	11:35～12:20
5	13:50～14:35
6	14:40～15:25

## 授業時間数

（時数を記入してください）

学年	月	火	水	木	金	計
1	5	5	5	5	5	25
2	5	6	5	5	5	26
3	6	6	5	6	5	28
4	6	6	5	6	6	29
5	6	6	5	6	6	29
6	5	5	5	5	5	25

- ・その他、45分（50分）単位以外の授業や帯時間等

朝の学習（月～金）8:35～8:50

パワーアップ（各学年学期に2回～3回基礎学力の定着を図る取組）

## 授業時数確保のための取り組み。

各行事の精選を行い、授業時数を確保できるように計画を立てている。各学級・各教科の授業時数を記録し、不足のないように計画を立てている。